

第36回技術研究発表会 梗概 < I 論文 >

A.技術・環境・エネルギー

【HP 掲載No. A01】

発表No.	A01
タイトル	地域の多様性を緑化に生かす ～地域性種苗による在来植物の持続可能な供給～
所属・名前	大成建設株式会社 渡邊 敬太 大成建設株式会社 鈴木 菜々子 大成建設株式会社 内池 智広 大成建設株式会社 北脇 優子 一般社団法人日本植木協会・グローバルグリーンクニタダ 國忠 征美
キーワード	① 自然景観 ② 自然再生 ③ ネイチャーポジティブ
<p>経済活動が生物多様性に依存しているとの認識が進み、都市緑地の新たな価値として生物多様性の保全機能が注目されている。緑地で生物多様性を保全するためには、地域ごとに異なる在来植物を使った緑化が求められる。一方で、市場に流通する在来植物は少なく、在来植物の供給種数の拡大が課題となっている。「地域性種苗」は、地域の遺伝子を持つ緑化植物であり、緑化計画地ごとに近隣から種子を採取して生産されるため、生物多様性の保全に加えて、市場に流通しない在来植物を供給できる利点がある。</p> <p>本稿では、地域の在来植物の安定供給を目的に、地域性種苗の供給実態調査した結果、①地域性種苗によって市場に流通しない在来植物が少なくとも 350 種以上供給されていること、②地域性種苗の安定供給には、北方と南方の地域性種苗生産の安定化が課題であり、隣接する地域での地域性種苗生産によって供給の安定化が期待できることが明らかとなった。</p>	